

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	工業技術センター・テクノサポート岡山		所在地	岡山市北区芳賀5301						
敷地面積	54,855.28 m ²		棟数	9 棟 (計画記載対象 9 棟)						
延床面積	20,568.12 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象						
設置目的	工業技術センター:工業に関する相談指導、研究、試験等を行い、工業の生産技術の向上とその成果の普及を図る。 テクノサポート岡山:高度な工業技術に関する研究を支援し、研究者等の交流を促進することにより、県内における工業技術の向上を図る。									
【想定される自然災害】										
<table border="0" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>予想震度 5強</td> <td>津波</td> <td>-</td> <td>浸水</td> <td>-</td> </tr> </table>						予想震度 5強	津波	-	浸水	-
予想震度 5強	津波	-	浸水	-						
建築規制	市街化調整区域 建ぺい率60%、容積率200%									
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 3,313,440 kwh	ガス 70,018 m ³	水道 7,177 m ³	燃料 (-) - 0						
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし									

1 施設内建物の概況

名称	本館棟	実験棟(1)	実験棟(2)
築年(西暦)	1995年	1995年	1995年
構造	鉄筋コンクリート造 地上4階 地下1階	鉄骨造 2階	鉄骨造 2階
建築面積	3,981.20 m ²	1,206.73 m ²	500.64 m ²
延床面積	13,737.37 m ²	1,722.97 m ²	972.84 m ²
主要な用途(室名等)	実験室 42室 2,633 m ² 執務室 9室 1,300 m ² 事務室((公財)岡山県産業振興財団等)	実験室 13室 1,108 m ² 電気室 1室 63 m ²	実験室 9室 646 m ²
主要な設備(屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機 電話交換機 ゴンドラ	電力設備(受変電設備) 空調設備 消火設備	空調設備 消火設備 昇降機
利用状況	中	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※2 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況(劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適

※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適

※4 傾斜が有る場合は不適

※5 地盤沈下が有る場合は不適

名称	実験棟(3)	別棟	マイクロものづくりセンター
築年(西暦)	1995年	1995年	2005年
構造	鉄筋コンクリート造 1階	鉄筋コンクリート造 1階	鉄骨造 2階
建築面積	466.37 m ²	440.36 m ²	163.15 m ²
延床面積	446.97 m ²	423.75 m ²	269.39 m ²
主要な用途 (室名等)	実験室 6室 445 m ²	倉庫 9室 292 m ²	実験室 103 m ² 執務室 15 m ² 会議室 34 m ²
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 消火設備	消火設備 廃水処理設備	空調設備
利用状況	高	高	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

名 称	交流棟	研修棟	計量センター
築年(西暦)	1995 年	1995 年	2020 年
構 造	鉄筋コンクリート造 1 階	鉄筋コンクリート造 1 階	鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき 1 階
建築面積	1,619.57 m ²	1173.27 m ²	304.30 m ²
延床面積	1,499.92 m ²	1190.61 m ²	304.30 m ²
主要な用途 (室名等)	レストラン 交流サロン 展示室	会議室 5室	事務室 タクシー検査場
主要な設備 (屋外を含む)	空調設備 給排水設備 消火設備	空調設備 消火設備	電気設備 空調設備 消火設備
利用状況	高	中	高
耐震性 ※1	有	有	有
躯体(コンクリート) の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2		
	中性化 ※3		
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適	適
	地盤沈下 ※5	適	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	該当なし	該当なし

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値 ≥ 0.6 (震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm²未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(1)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(2)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
実験棟(3)	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
別棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
マイクロものづくりセンター	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
交流棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
研修棟	劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。
計量センター	予防保全を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等について順次更新等を行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟	設備等の大規模改修					空気調和機 3					マルチパッケージエアコン 1
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)			ゴンドラ		エレベータ(1台)	受変電設備				受変電設備 各室カギ 非常用電源設備 ボイラー・温水発生機 給排水ポンプタンク 照明LED化 誘導灯 消防ポンプ 屋内消火栓
									エレベータ(2台)		屋根 外壁 排煙装置設備 HPチラー冷却塔 冷温水発生機 送風機 中央監視制御設備
実験棟(1)	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				マルチパッケージエアコン		空気調和機			ボイラー 受変電設備 照明LED化 屋根・外壁 屋内消火栓 送風機 誘導灯 各室カギ	
実験棟(2)	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)				エレベータ(1台)	マルチパッケージエアコン				誘導灯 各室カギ 照明LED化 屋根・外壁 送風機 屋内消火栓	

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R4.1	<ul style="list-style-type: none">・計量センター(R2新築)を追加・本館棟の設備等の定期更新のスケジュール変更(受変電設備修繕の一部前倒し)
R5.2	<ul style="list-style-type: none">・本館棟の設備等の定期更新のスケジュール変更 (マルチパッケージエアコン大規模改修、照明LED化)
R6.1	<ul style="list-style-type: none">・実験棟、別棟等の設備等の定期更新のスケジュール変更 (照明LED化)
R7.1	<ul style="list-style-type: none">・本館棟、交流棟等の設備等の定期更新のスケジュール変更 (屋根・外壁の改修)
R8.1	<ul style="list-style-type: none">・本館棟の設備等の定期更新のスケジュール変更 (マルチパッケージエアコン大規模改修、各室カギ、非常用電源設備、照明LED化、誘導灯)・実験棟、別棟等の設備等の定期更新のスケジュール変更 (屋根・外壁、誘導灯、各室カギ)